

九重山

○概 況

火山活動に大きな変化は認められず、引き続き静かな状態でした。

○噴煙活動の状況

噴煙は白色・ごく少量、噴煙高度の最高は 600m(9月：800m)で、特に異常は認められませんでした(図1、図3)。

○地震・微動活動の状況

火山性地震の回数は 67 回(9月：30 回)で、26 日に一時的にやや多く発生しましたが、その他の日は1日あたり 0～6 回と少ない状態で経過しました(図2、図3)。地震の震源は、主に久住山の北西 5～6 km 付近でした(図4)。

火山性微動の発生はありませんでした。

○火口や噴気地帯の状況

10 月 20 日に国土交通省九州地方整備局の協力による上空からの観測を実施し、1995 年に噴火したD領域のd火孔とc列からの噴気が停止しているのを確認しました(図7、図8)。

○地殻変動活動の状況

GPS による地殻変動観測では、長者原―牧ノ戸峠、長者原―坊ガツル、牧ノ戸峠―坊ガツルの各観測点間の基線長には、火山活動に起因する変化はありませんでした(図5)。

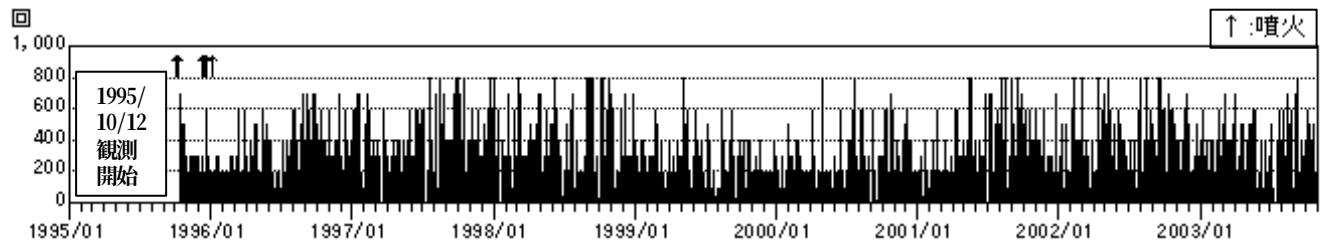


図1 日最高噴煙高度(1995 年 10 月 12 日～2003 年 10 月 31 日)

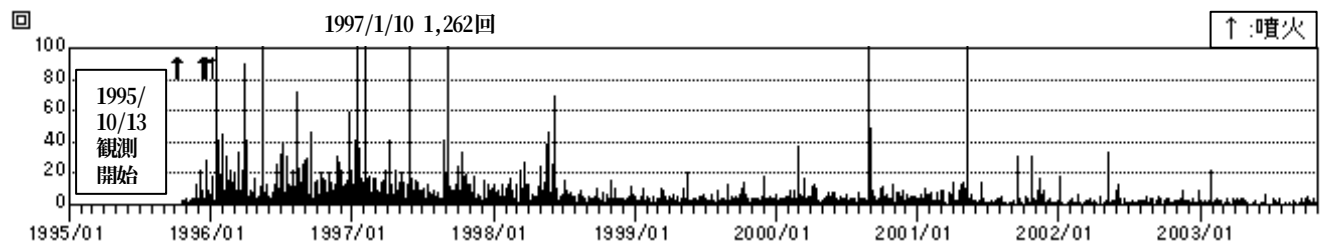


図2 日別地震回数(1995 年 10 月 13 日～2003 年 10 月 31 日)

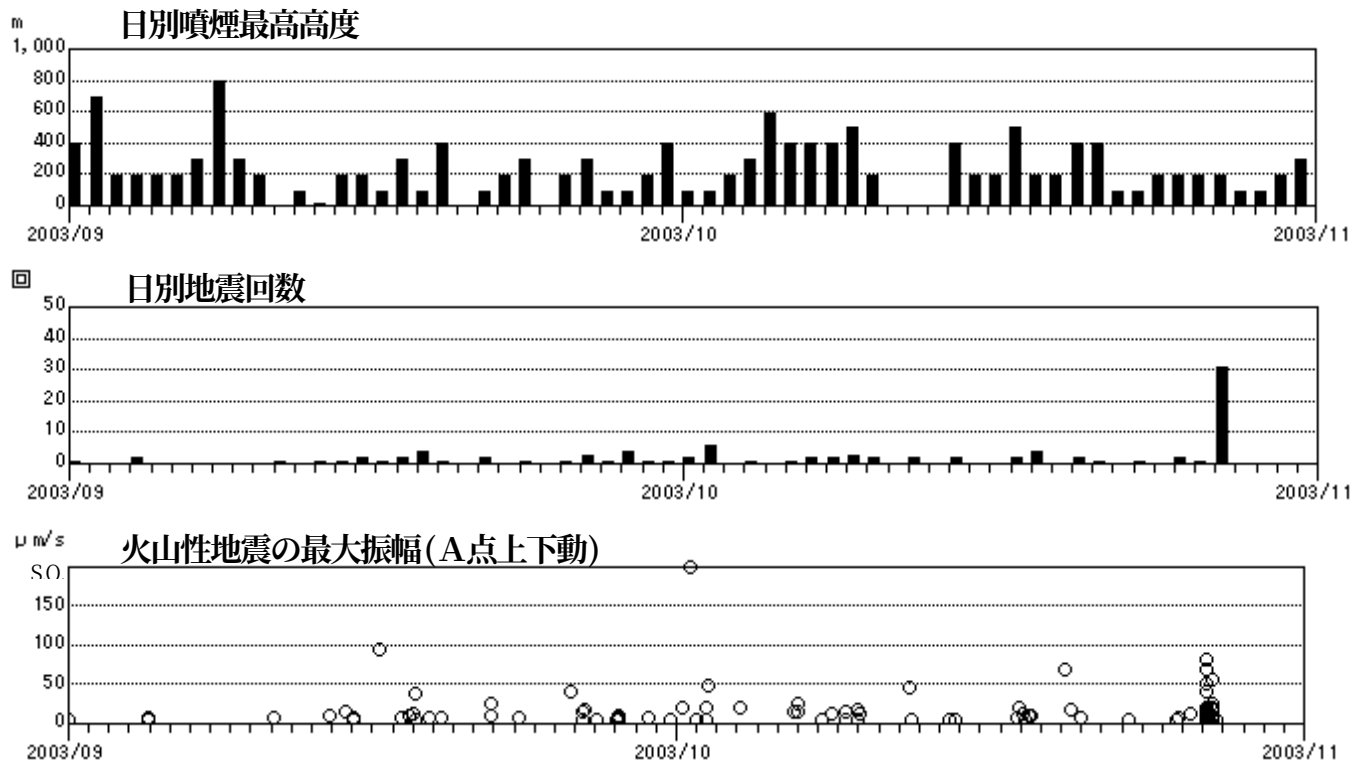


図3 火山活動経過図(2003年9月1日~10月31日)

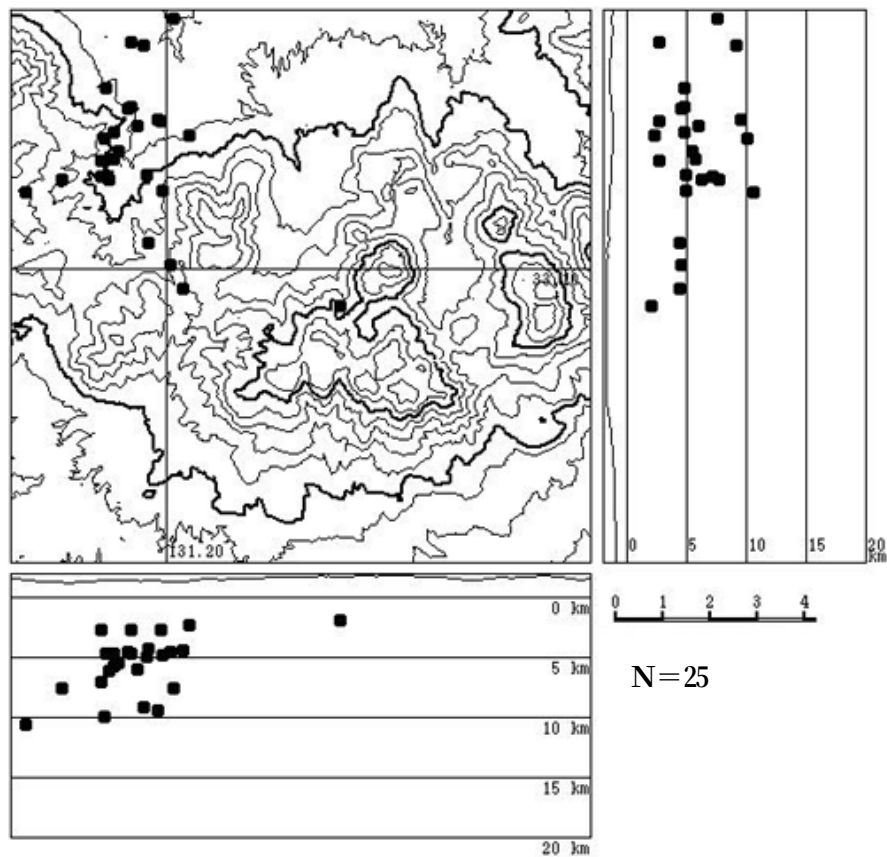


図4 火山性地震の震源分布(2003年10月1日~31日)
(広域の地震観測網と火山の地震観測点を使用して震源を求めた)

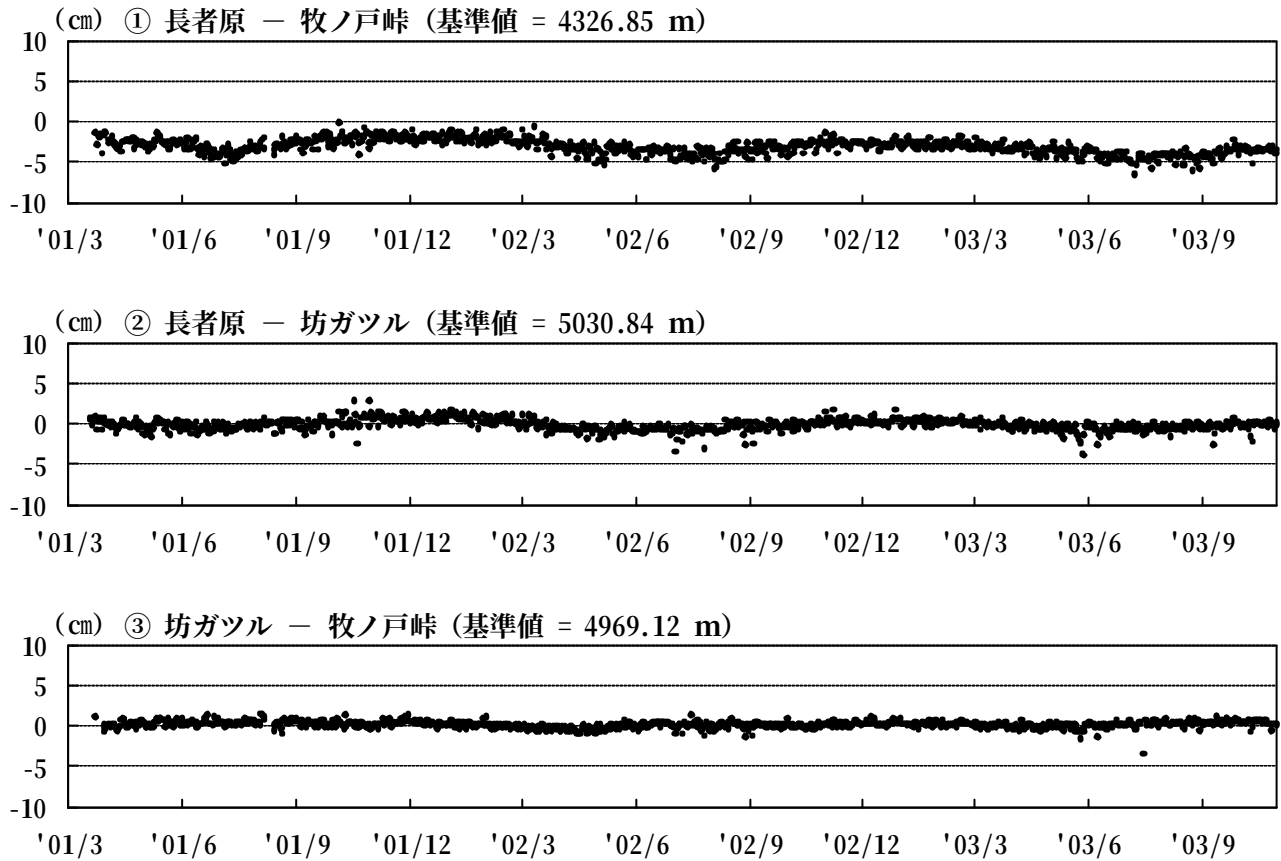


図5 GPSによる基線長変化(2001年3月22日~2003年10月31日)

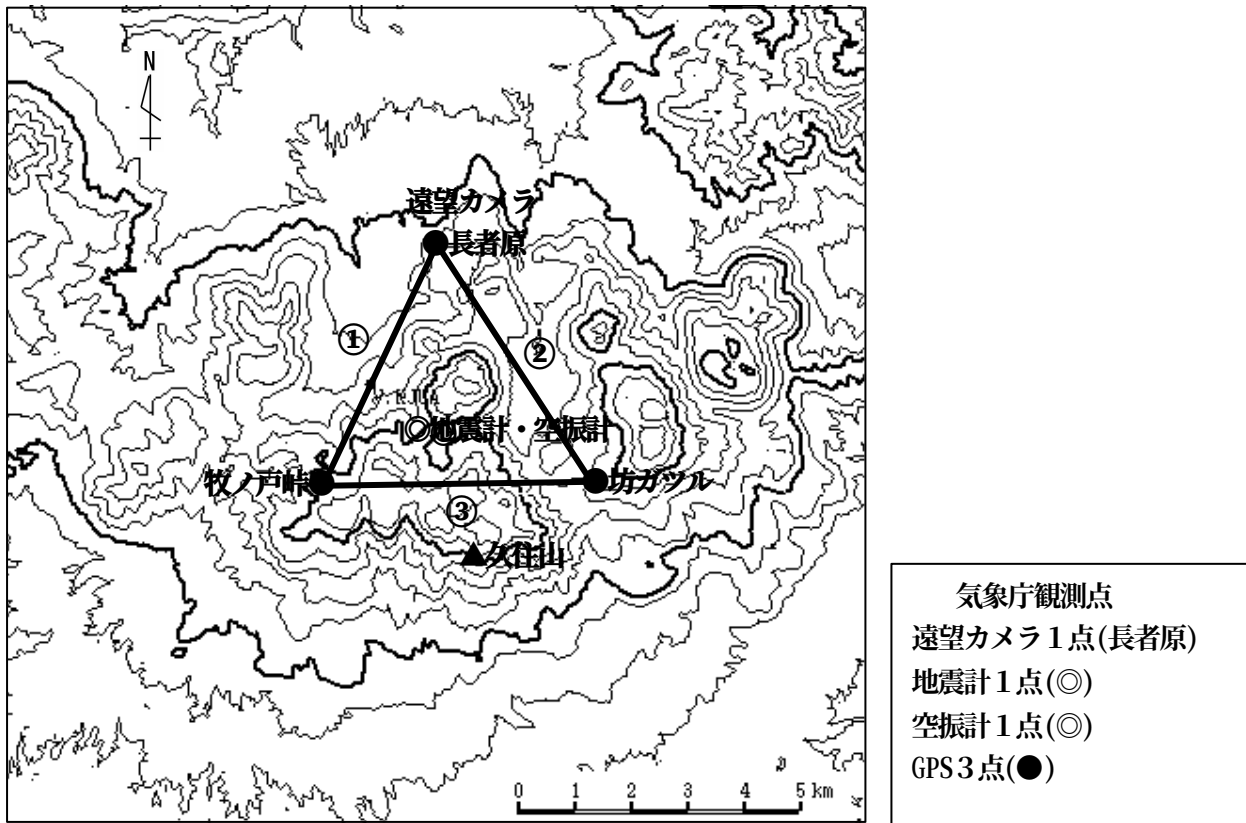


図6 観測点位置図

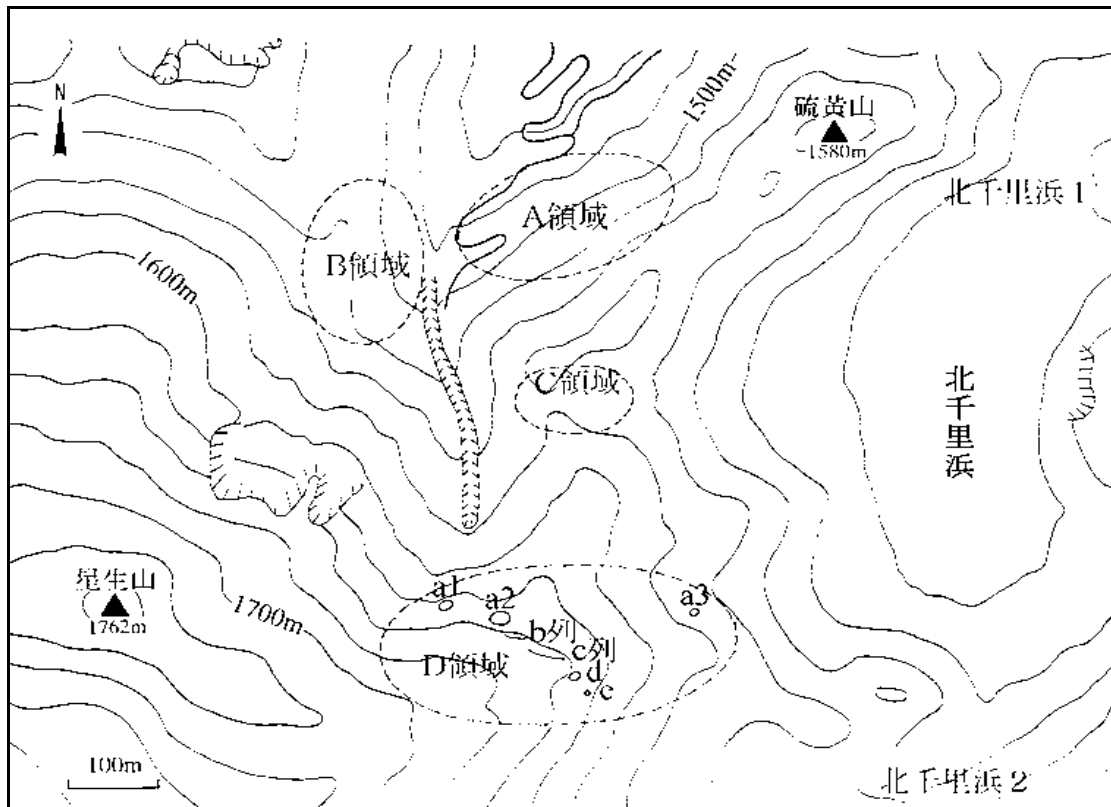


図7 九重山現地観測点位置図

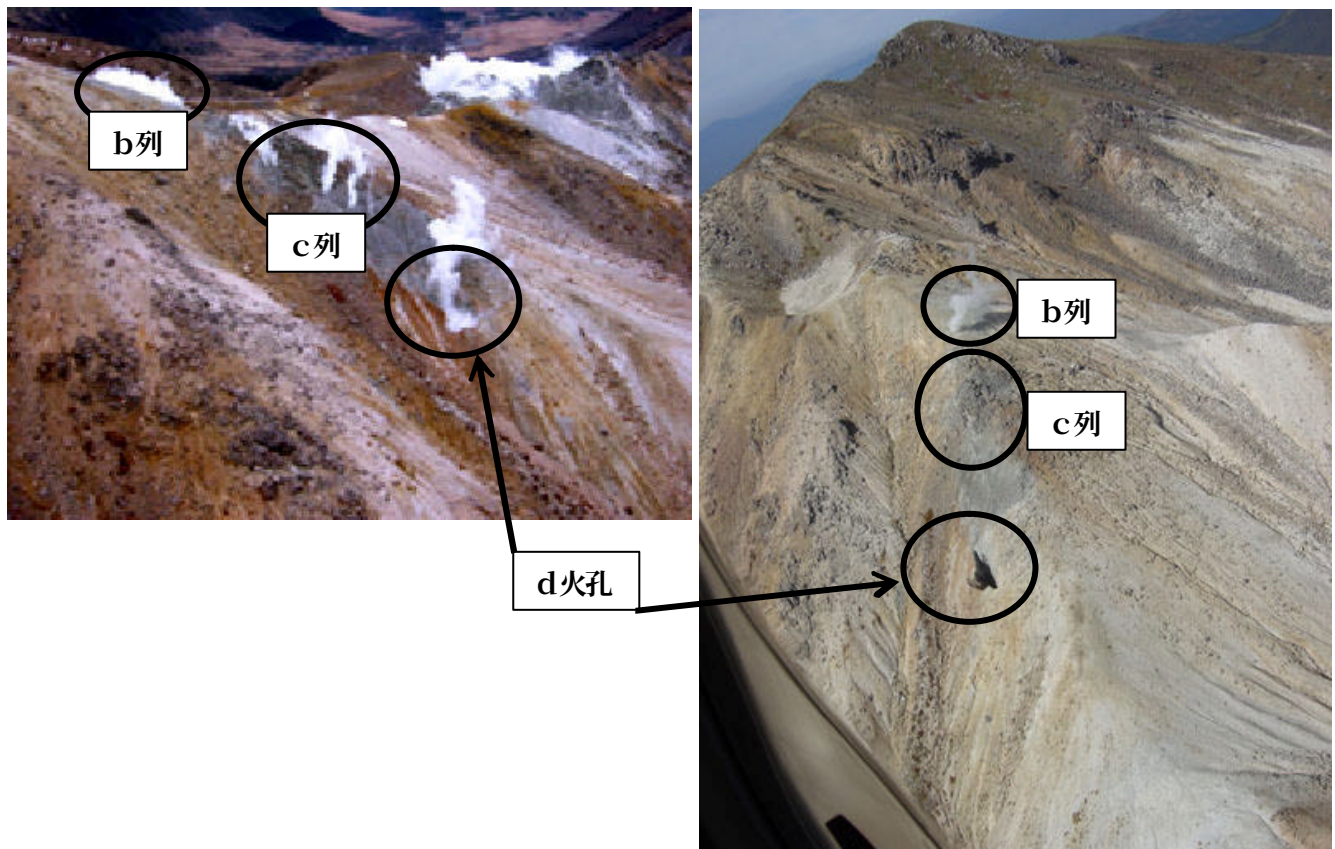


図8 1995年10月に噴火したD領域の噴煙の様子(左 2002年12月20日、右 2003年10月20日)
b列から若干の噴気が見られるが、d火孔とc列の噴気は停止している。

九重山